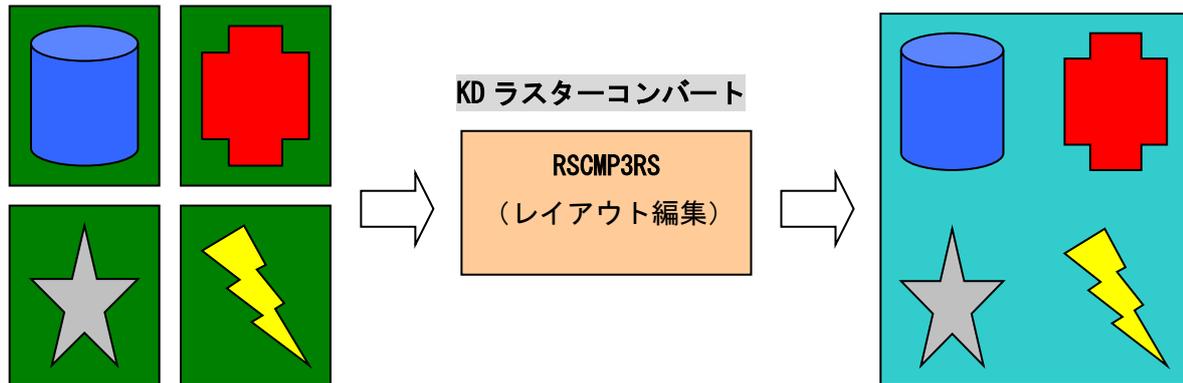


# RSCMP3RS KCS

Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

## (ラスターレイアウト)

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>



### 製品概要

- ・ラスターデータのレイアウト機能。(ラスターデータの合成、結合、配置)
- ・ラスターデータの相互変換。(製品名 RS3RS 内蔵)
  - フォーマット変換
  - 解像度設定
  - ページ処理(シングル/マルチ/ページ選択)
  - 画像処理(モノクロ/カラー)
  - スケーリング、回転、クリッピング、2UP、4UP
  - 細線化、太線化、処理の高速化、出力サイズ調整、オフセット、マージン処理など
- ・コマンドラインアプリケーション。(バッチ処理、システムへの組み込みが可能)

・変換可能なラスターデータ

| 読み込み可能なフォーマット  | 出力可能なフォーマット   |
|--|---|
| BMP<br>CALSG4 (type1, type2(tiled))<br>CCRF<br>DCX<br>EDMICS (MMR, RLC)<br>Exif<br>FORMTEK<br>FX-MMR<br>GIF<br>GTX (G4)<br>IOCA (非圧縮, MMR, IBM-MMR)<br>JPEG<br>JPEG 2000<br>MMR (G4 FAX)<br>MR (G3 FAX)<br>MH (G3 FAX)<br>MIEL<br>NSXPRESS (MMR, MR, MH)<br>PBM/PGM/PPM<br>PCX<br>PNG<br>Sun Raster (非圧縮, MMR, MR, MH, RLE)<br>TIFF (非圧縮, Packbits, JPEG, CCITT-1D, MMR, MR, MH, LZW, deflate)<br>TOSFILE (MMR, MR, MH)<br>WBMP<br>XBITMAP<br>XDW (DocuWorks)<br>XWD (X Window Dump) | BMP<br>CALSG4 (type1, untiled)<br>EDMICS (MMR, RLC)<br>EPSF<br>FX-MMR<br>GIF<br>HP-RTL (非圧縮, Packbits, MMR, MR, MH)<br>IOCA (非圧縮, MMR, IBM-MMR)<br>JPEG<br>JPEG 2000<br>MMR (G4 FAX)<br>MR (G3 FAX)<br>MH (G3 FAX)<br>MIEL<br>PBM/PGM/PPM<br>PNG<br>PostScript<br>PDF<br>PDF/A-1b<br>PDF/X-1a<br>Sun Raster (非圧縮, MMR, RLE)<br>SVG (JPEG, PNG)<br>TIFF (非圧縮, Packbits, JPEG, classF, CCITT-1D, MMR, MR, MH, LZW, deflate)<br>WBMP<br>XDW (DocuWorks)<br>XWD (X Window Dump) |

(※) XDW (DocuWorks) を処理する場合、以下のいずれかのバージョンの DocuWorks がインストールされている必要があります。

- ・ DocuWorks 6
- ・ DocuWorks 7
- ・ DocuWorks 8 (8.0.3 を除く)
- ・ DocuWorks 9
- ・ DocuWorks 9.1

## 動作環境

- ・ Windows 版 : XP / Server 2003 / Vista / Server 2008 / 7 / Server 2008 R2 / 8 / Server 2012 / 8.1 / Server 2012 R2 / 10 / Server 2016 / Server 2019
- ・ UNIX 版 : Solaris9 以降 (SPARC)、HP-UX11i V2 以降、AIX6.1 以降
- ・ LINUX 版 : x86 系

## 価格

40 万円/本(税抜き)

## 基本操作

RSCMP3RS のラスタレイアウト機能を利用すると複数のイメージデータを指定した用紙サイズに指定した配置方法で結合(合成)することができます。操作手順は、次のようになります。

※ この書ではラスタレイアウト機能関連についてのみ説明いたします。  
ラスタ相互変換 (RS3RS) については説明いたしません。

RSCMP3RS は、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込むことができます。ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の、基本的な操作手順を示します。(Windows の場合は、「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行して下さい。)

変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
>RSCMP3RS -MERGE[合成指示ファイル名] -O[出力ファイル名] -P[用紙サイズ] -LAYTYP[配置方法]
```

### 【各パラメータの説明】

- ・「RSCMP3RS」は実行プログラム名になります。
- ・「-O」は、変換後の出力ファイル名を指定するパラメータになります。
  - ※ 「-O」マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、「-O」と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。以下のパラメータにおいても同様の扱いになります。
  - ※ 各パラメータの詳細につきましては後述「オプションパラメータ」に記載。
- ・-MERGE はレイアウトするイメージファイル名を記述してある合成指示ファイルを指定するパラメータになります。

### ※合成指示ファイルの記述方法

オプションで指定する合成指示ファイルは、合成する各イメージのファイル名と合成処理のオプションを、1行につき1ファイル分ずつ記述したテキストファイルです。

例)

```
ファイル名 1  
ファイル名 2  
...
```

ファイル名の指定に次のワイルドカードを使うことができます。

```
? 任意の1文字を表す  
* 任意の文字列を表す
```

- ・-P は出力サイズを指定するパラメータになります。定型の用紙サイズから選択します。
- ・-LAYTYP はレイアウトするイメージファイルの配置方法を指定します。

例えば、abc.txt にレイアウト(合成)するイメージファイル名が記述され、出力ファイル名は abc.tif、出力するサイズは A2 サイズとします。

レイアウトするイメージファイルの配置方法は右から左に合成していきます。この場合次のように入力します。(下線部が、入力する部分です。)

```
> RSCMP3RS -COMPabc.txt -Oabc.tif -P2 -LAYTYP2
```

正常に変換できた場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコード 0 が返されます。

```
> RSCMP3RS 変換終了
```

エラーの場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコードとして 0 以外の値が返されます。

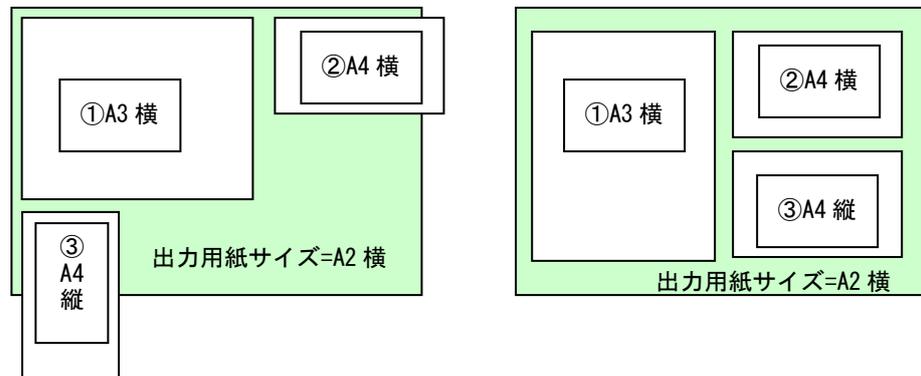
```
> RSCMP3RS 変換エラー
```

## オプションパラメータ

- O[filename] : 変換結果を出力するファイル名を指定します。例えば、「-Otest.rs」と入力すると、test.rsに出力データが得られます。  
このオプションを省略することにより、変換結果を標準出力に送ることができます。
- P[paper] : 用紙サイズを番号で指定します。  
0:A0 横 1:A1 横 2:A2 横 3:A3 横 4:A4 横 5:A5 横 6:A6 横  
20:A0 縦 21:A1 縦 22:A2 縦 23:A3 縦 24:A4 縦 25:A5 縦 26:A6 縦  
11:B1 横 12:B2 横 13:B3 横 14:B4 横 15:B5 横  
31:B1 縦 32:B2 縦 33:B3 縦 34:B4 縦 35:B5 縦
- LAYTYP[type] : イメージの配置方法を指定します。type を指定しなければ、レイアウトされません。  
0: 自動配置  
1: 行方向 左から右  
2: 行方向 右から左  
3: 列方向上から下  
4: 列方向下から上

### ◆ 自動配置

入力ファイルと出力ファイルの縦、横のサイズをみて出力ファイルにできるだけ入力ファイルが合成されるように入力ファイルに回転をかけて合成します。  
<LAYTYP の比較>

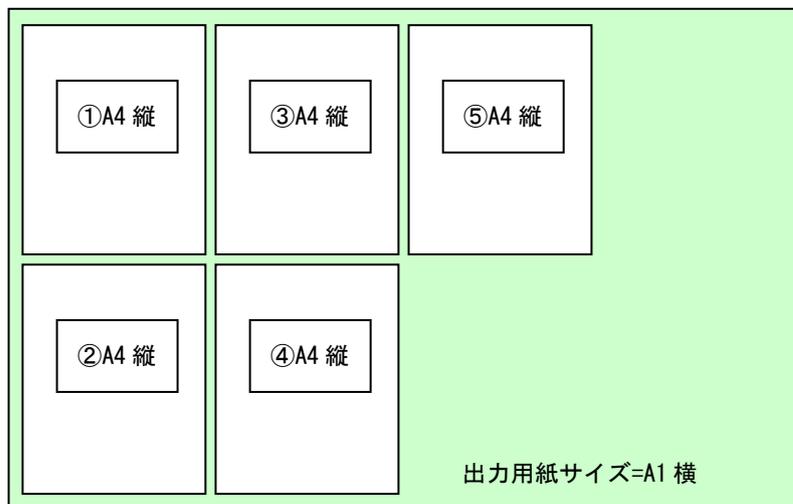


入力データ = ①A3 横, ②A4 横, ③A4 縦  
出力用紙サイズ = A2 横  
で列方向上から下の合成 (-LAYTYP3) を  
指定した場合

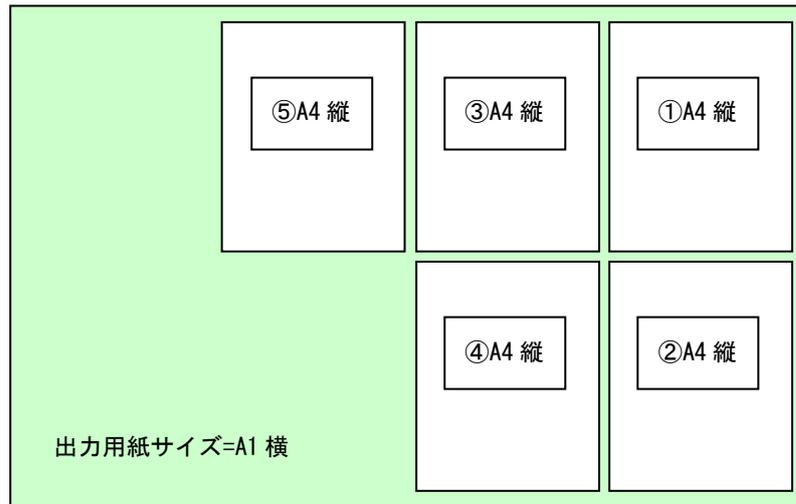
入力データ = ①A3 横, ②A4 横, ③A4 縦  
出力用紙サイズ = A2 横  
で自動配置 (-LAYTYP0) を指定した場合

### ◆ 行方向 左から右

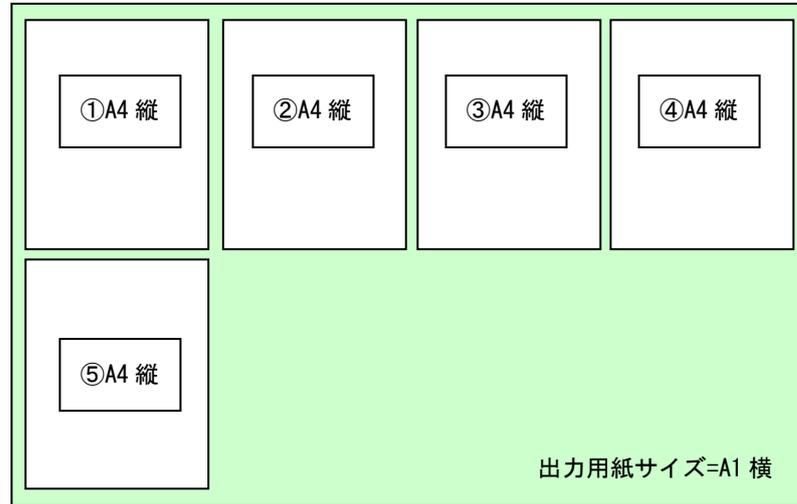
(例)入力データ (A4 縦 \* 5 枚)、出力用紙サイズ A1 横



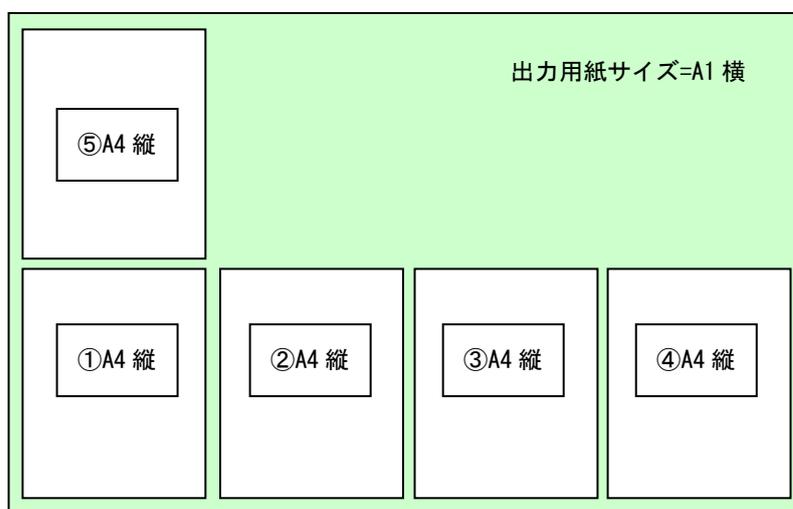
- ◆ 行方向右から左  
(例)入力データ (A4 縦 \* 5 枚)、出力用紙サイズ A1 横



- ◆ 列方向上から下  
(例)入力データ (A4 縦 \* 5 枚)、出力用紙サイズ A1 横

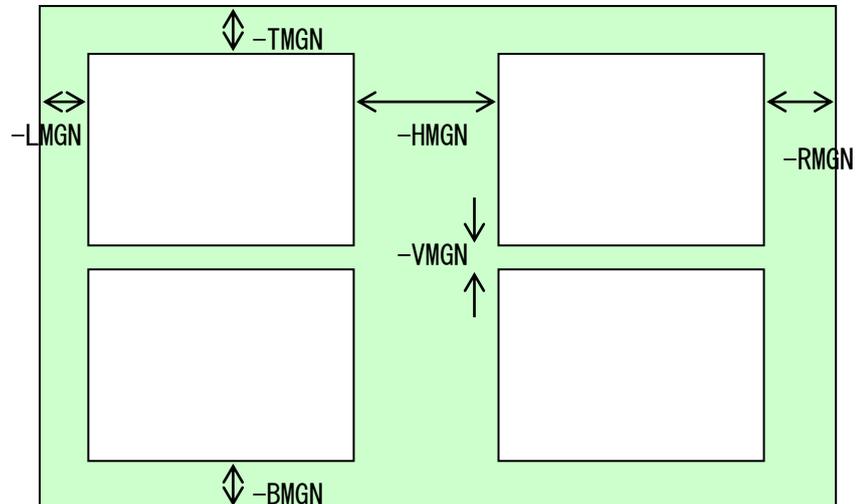


- ◆ 列方向下から上  
(例)入力データ (A4 縦 \* 5 枚)、出力用紙サイズ A1 横



-[L][R][T][B][V][H]MGN : 合成ファイル間のマージンサイズの指定 (単位 mm)

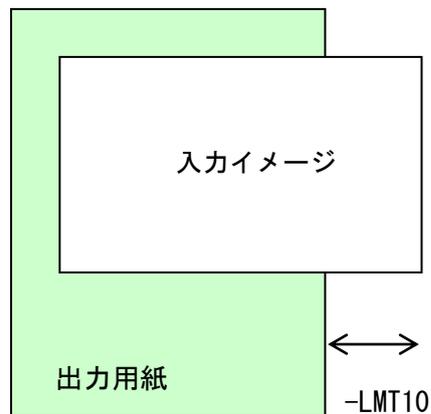
-LMGN 出力用紙サイズの左マージン  
-RMGN 右マージン  
-TMGN 上マージン  
-BMGN 下マージン  
-VMGN 縦マージン  
-HMGN 横マージン



-LMT[length]

: 限界値 (単位 mm)

入力イメージが出力用紙サイズよりもはみ出す値の限界値を設定します。



入力イメージの出力用紙よりはみ出す値が 10mm 以内だとそのまま合成されます。  
はみ出した部分はクリッピングされます。

-FORM[formfile]

: 図枠の合成を行います。formfile は図枠イメージのファイル名です。

あらかじめ用意された図枠のイメージ「formfile」を合成します。

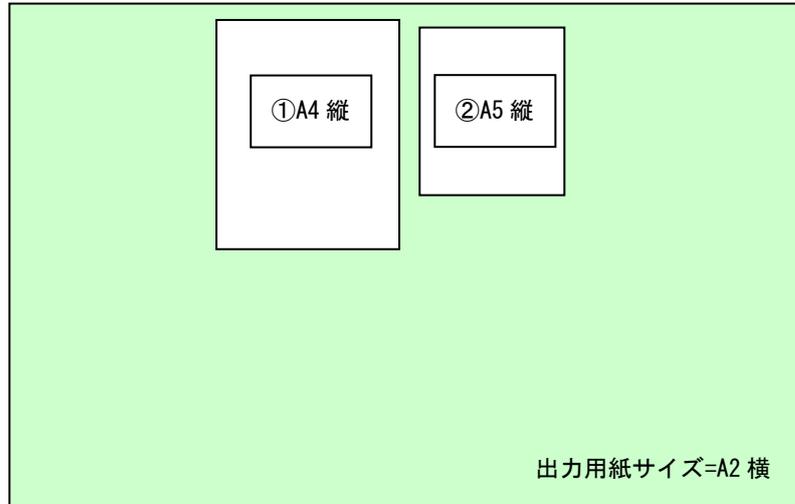
このとき、用紙サイズは図枠イメージのサイズと同じサイズを指定してください。

-CENTER[type]

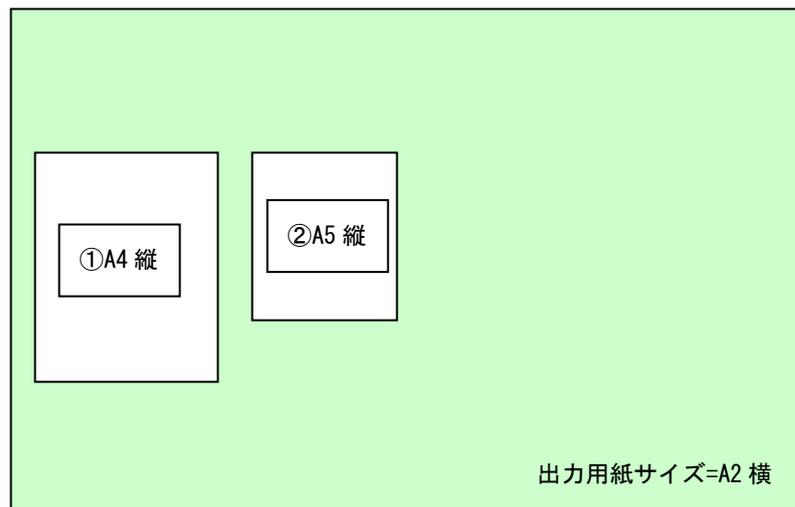
: センタリング

- 0 : 横方向にセンター振り分け
- 1 : 縦方向にセンター振り分け
- 2 : 横、縦方向にセンター振り分け

◆ 横方向にセンター振り分け



◆ 縦方向にセンター振り分け



◆ 横、縦方向にセンター振り分け

